

現在歯数とヘルシーエイジングとの関連：大崎コホート 2006 研究

Association between number of remaining teeth and healthy aging in Japanese older people: the Ohsaki Cohort 2006 Study.

2021 年 Geriatrics & Gerontology International 発表

ヘルシーエイジングについて

高齢化が進む現代においては、人々は単に病気がないことや要介護状態でないだけでなく、生活の質（QOL; quality of life）や人生満足度などの充実も求めるようになってきました。

そのため、本研究では、図 1 のように「介護保険認定非該当」、「抑うつなし」、「高い健康関連 QOL」、「高い人生満足度」を全て満たすことをヘルシーエイジング（充実した老後）と定義しました。

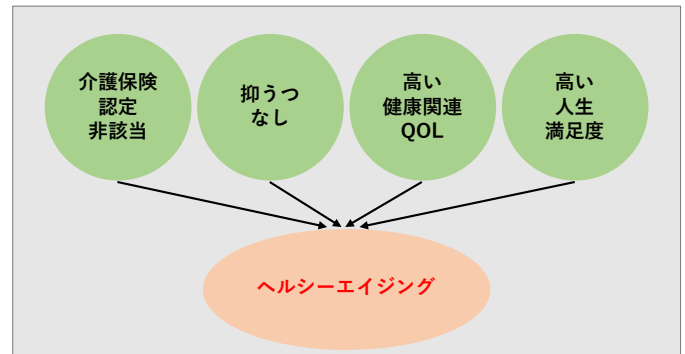


図 1 本研究におけるヘルシーエイジングの定義

現在歯数が 20 本以上の高齢者は、ヘルシーエイジングを達成する可能性が高い

私たちはこれまでに、現在歯数が多い者は死亡や要介護のリスクが低いことを報告してきました。しかし、これらの研究は、QOL や人生満足度などを含めた検討はしておらず、ヘルシーエイジングとの関連は明らかになっていません。

本研究は、高齢者における現在歯数とヘルシーエイジングとの関連を、地域住民を対象とした前向きコホート研究により検討しました。その結果、現在歯数が 20 本以上の者は、ヘルシーエイジングを達成する可能性が高いことが明らかとなりました（図 2）。この関連は、義歯使用の有無を考慮した場合でも変わりませんでした（図 3）。

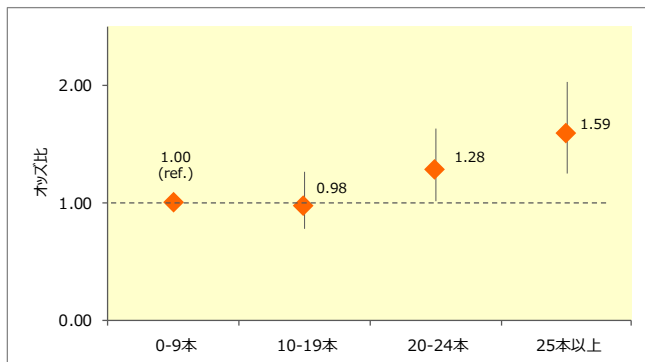


図 2 現在歯数とヘルシーエイジングとの関連

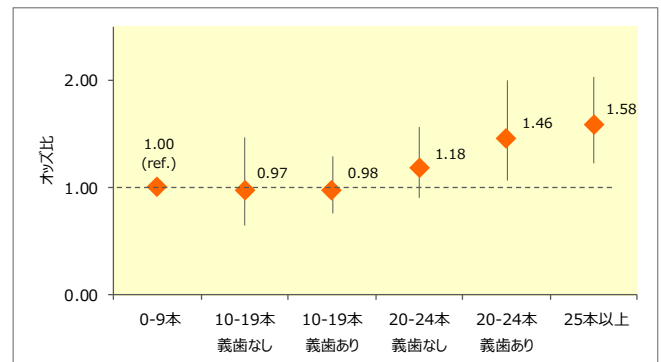


図 3 現在歯数および義歯使用の有無とヘルシーエイジングとの関連

研究データについて

本研究は、2006 年 12 月に実施した「大崎市市民健康調査 2006」と 2017 年 12 月に実施した「大崎市市民健康調査 2017」のデータを用いて解析しました。「大崎市市民健康調査 2006」の有効回答 23,091 名のうち、介護保険認定の情報提供に非同意の方、調査時にすでに介護保険認定されていた方、調査時に「抑うつあり」の方、抑うつに関する質問に回答しなかった方を除いた 9,947 名を追跡しました。追跡期間中（2006 年 12 月～2017 年 11 月）に転出：305 名と死亡：2,645 名が確認されました。転出・死亡を除いた追跡対象 6,997 名を対象に「大崎市市民健康調査 2017」を行い、5,882 名からヘルシーエイジングに関する質問に有効回答を得ました。ヘルシーエイジングの解析対象は、有効回答 5,882 名に上記の死亡：2,645 名を加え、さらに 2006 年調査時に現在歯数に関する質問に未回答だった 227 名を除外した 8,300 名としました。

現在歯数および義歯使用の有無について

現在歯数と義歯使用の有無については、2006 年の調査への回答から情報を得ました。現在歯数は、「0-9 本」、「10-19 本」、「20-24 本」、「25 本以上」の 4 群に分類しました。これに、義歯使用の有無を組み合わせ、「0-9 本」、「10-19 本+義歯なし」、「10-19 本+義歯あり」、「20-24 本+義歯なし」、「20-24 本+義歯あり」、「25 本以上」の 6 群に分類しました。なお、「0-9 本」では、その群のほとんどの人が義歯を使用しており、「25 本以上」では、その群のほとんどの人が義歯を使用していなかったため、義歯使用の有無による分類をしませんでした。

他のリスク要因の影響について

現在歯数が多い高齢の方は、良い生活習慣を送っていたり、認知機能が良好であったり、心身ともに健康であるなどの可能性が考えられます。そのため、本研究では、現在歯数とヘルシーエイジングに関連すると考えられる要因の影響を考慮したデータ解析を行いました。具体的には、性別、年齢、喫煙、飲酒、歩行時間、睡眠時間、教育歴、既往歴、認知機能、社会参加について、多変量解析による調整を行いました。

研究の特徴と限界について

本研究の特徴は、①現在歯数とヘルシーエイジングとの関連を縦断研究で示したこと、②ヘルシーエイジングの定義について、自立だけでなく健康関連 QOL や人生満足度も考慮し、さらに介護保険情報や EQ-5D-3L などの妥当性の高い指標を使用したことなどがあります。

一方、本研究の限界として、健康関連 QOL と人生満足度に関する情報がベースライン時点で得られなかったことが挙げられます。
